

* 仙台市衛生研究所ホームページ: <http://www.city.sendai.jp/shisetsu/hokenfukushi/eisei/1577.html>

今回は2013年の仙台市の 感染症発生状況についての速報です

感染症発生動向調査とは、感染症の予防と蔓延防止に役立てるため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、感染症法)に基づき、定められた感染症について、診断した医師からの報告をもとに、感染症の発生状況を調査し、分析・公表するものです。

感染症法では、対象となる感染症を感染力や罹患した場合の重篤性等により一類～五類、新型インフルエンザ等感染症に類型化し、診断した医師に届出を行うよう規定しています。なお、一～四類感染症、五類感染症の一部、新型インフルエンザ等感染症は**全数報告対象感染症**^{*1}に分類されており、それ以外の五類感染症は**定点報告対象感染症**^{**2}に分類されています。

仙台市衛生研究所では、医療機関から保健所を通して報告のあった感染症情報のとりまとめを行い、週1回(対象疾患によっては月1回)、**仙台市感染症発生動向調査情報**としてウェブサイトなどで公開しています。それらをもとに、今回は2013年の仙台市の状況についてまとめました。

※本データは速報値です。追加報告等により修正される可能性があることを御承知おきください。

※1 全数報告対象感染症: 診断したすべての医師に報告が義務づけられている感染症。

※2 定点報告対象感染症: あらかじめ定点として指定された医療機関に報告が義務づけられている感染症。決められた期間中(1週間または1ヶ月)に診断された患者数を報告する。

トピックス

新たに届出対象感染症が追加・変更されました

平成25年3月4日から、四類感染症に「**重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)**」が追加されました。

平成25年4月1日から、五類感染症(全数把握対象)に「**侵襲性インフルエンザ菌感染症**」「**侵襲性肺炎球菌感染症**」が追加され、同じく五類感染症の「**髄膜炎菌性髄膜炎**」が「**侵襲性髄膜炎菌感染症**」に変更されました。

平成25年5月6日から、指定感染症に「**鳥インフルエンザ(H7N9)**」が追加されました。

平成25年10月14日から、五類感染症(定点把握対象)に「**感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)**」が追加されました。

仙台市において上記疾病のなかで、2013年に報告があったのは、**侵襲性インフルエンザ菌感染症(1例)**、**侵襲性肺炎球菌感染症(10例)**、**感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)(1例)**でした。

感染性胃腸炎については、従来の小児科定点における届出に加え、基幹定点における、迅速診断キットを用いたロタウイルスによる感染性胃腸炎と診断された症例を届出の対象とすることにより、重症例を中心にロタウイルス胃腸炎の発生動向をより正確に把握するとともに、ロタウイルスワクチン導入の影響を評価することを目的としています。



1. 全数報告対象感染症

2013年に診断・報告された全数報告対象感染症を表1にまとめました。

表1 2013年全数報告対象感染症発生状況(仙台市)

類	疾病名	報告数	推定感染地域
二類	結核	153	国内143例, インドネシア1例, ウガンダ1例, 中国1例, フィリピン1例, 不明6例
三類	腸管出血性大腸菌感染症	71	国内71例
	パラチフス	1	東南アジア1例
四類	つつが虫病	2	国内2例
	デング熱	2	インドネシア2例
五類	レジオネラ症	39	国内39例
	レプトスピラ症	1	タイ1例
	アメーバ赤痢	25	国内22例, フィリピン1例, アジア(詳細不明)1例, 不明1例
	ウイルス性肝炎	3	国内2例, 不明1例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	6	(届出対象外)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	国内2例, 不明1例
	後天性免疫不全症候群	18	国内15例, イタリア1例, 大韓民国1例, 不明1例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	国内1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	10	国内10例
	梅毒	33	国内33例
	破傷風	2	国内2例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	国内1例
	風しん	67	国内64例, インドネシア1例, 不明2例

2013年は全国的に大流行した風しんや腸管出血性大腸菌感染症, レジオネラ症, アメーバ赤痢, 後天性免疫不全症候群, 梅毒の報告数が過去5年で最も多くありました。

また, 感染原因として「性的接触」が疑われるものは49件(アメーバ赤痢25件中4件, ウイルス性肝炎3件中1件, 後天性免疫不全症候群18件中16件, 梅毒33件中28件), 「動物・蚊・昆虫等からの感染」が疑われるものは3件(つつが虫病2件中1件, デング熱2件), 「創傷感染」が疑われるものは4件(劇症型溶血性レンサ球菌感染症3件, 破傷風2件中1件)ありました。

2. 定点報告対象感染症

2013年に診断・報告された定点報告対象感染症について以下にまとめました。

【2013年 仙台市内定点医療機関の内訳】	
小児科定点	26
インフルエンザ定点	42 (内科定点16+小児科定点26)
眼科定点	6
性感染症定点	8 (婦人科, 泌尿器科, 皮膚科)
基幹定点	5 (病床数300以上の小児科, 内科及び外科を含む病院)

2013年の週報告対象感染症は, 咽頭結膜熱が春先と夏季に, A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と伝染性紅斑が冬季に例年よりも多い傾向がみられました。

インフルエンザは年明けから2012/2013シーズンの本格的な流行がみられました。(グラフ1)

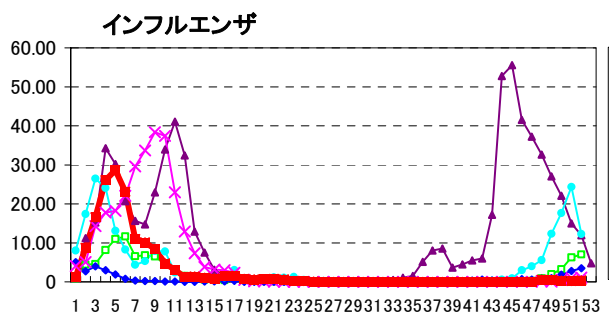
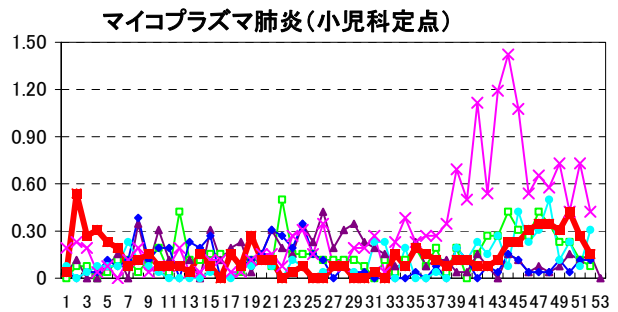
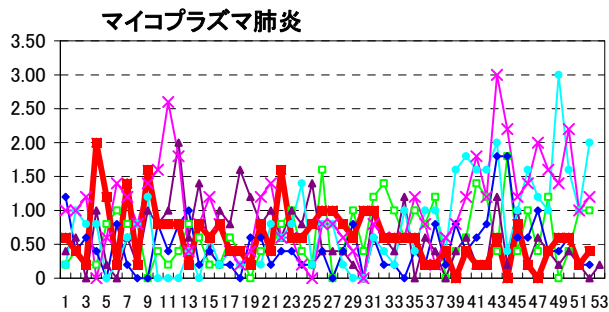
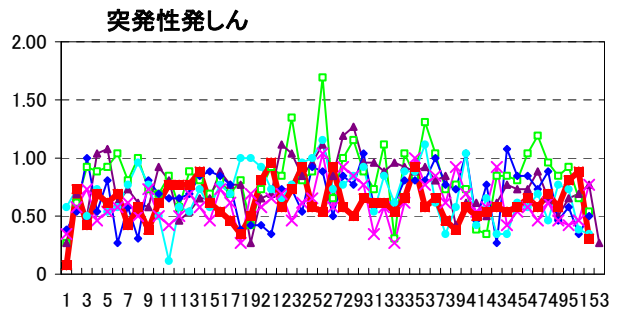
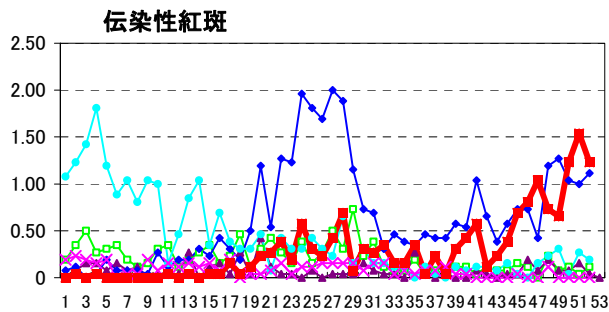
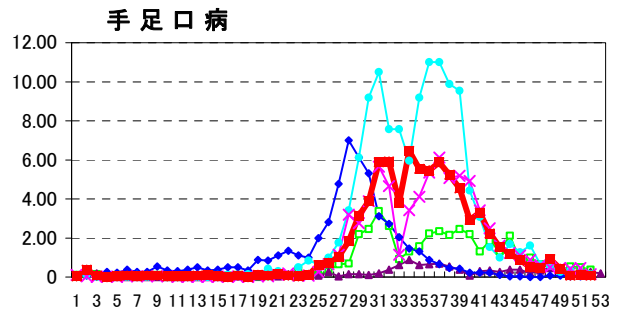
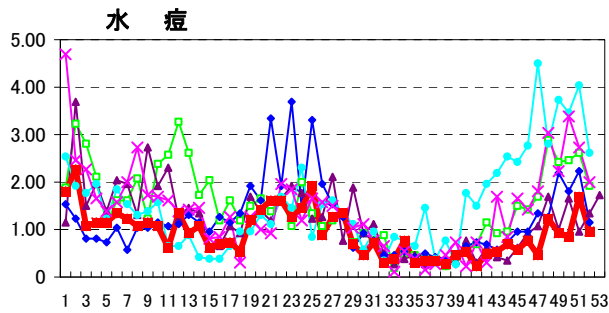
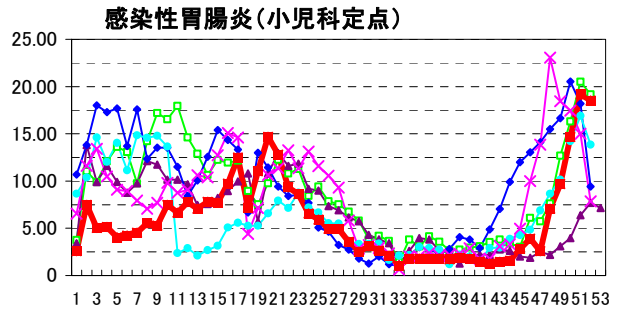
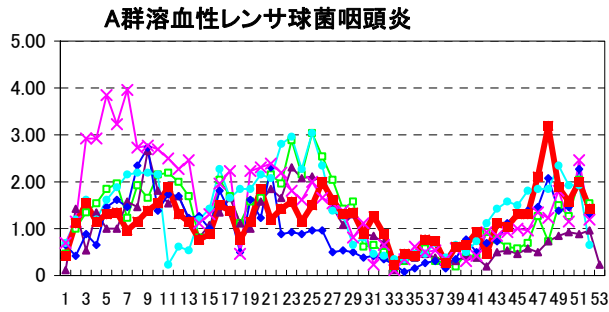
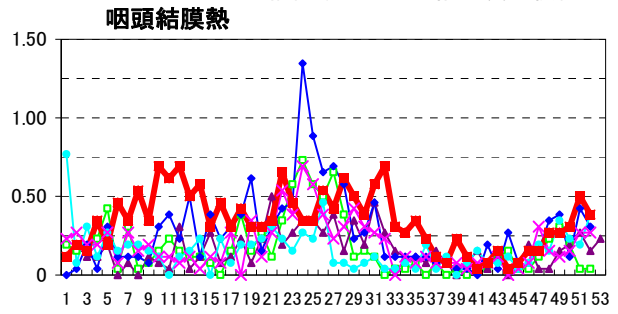
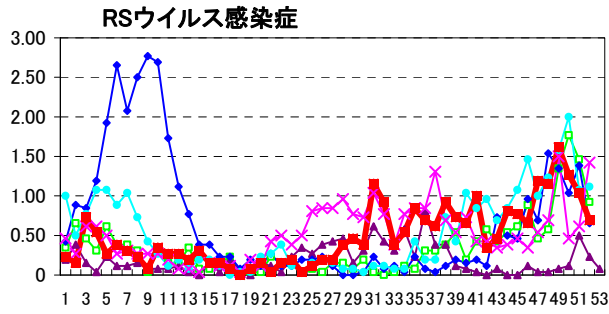
また, 月報告対象性感染症では, いずれも20~30代の年齢層に患者報告数が多い傾向がみられました。(グラフ2)

全国の情報はこちら ↓

「国立感染症研究所 感染症疫学センター」 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

グラフ1 主な週報告対象感染症の発生状況（仙台市，2008～2013年）

* 縦軸：定点当たり報告数， 横軸：診断週



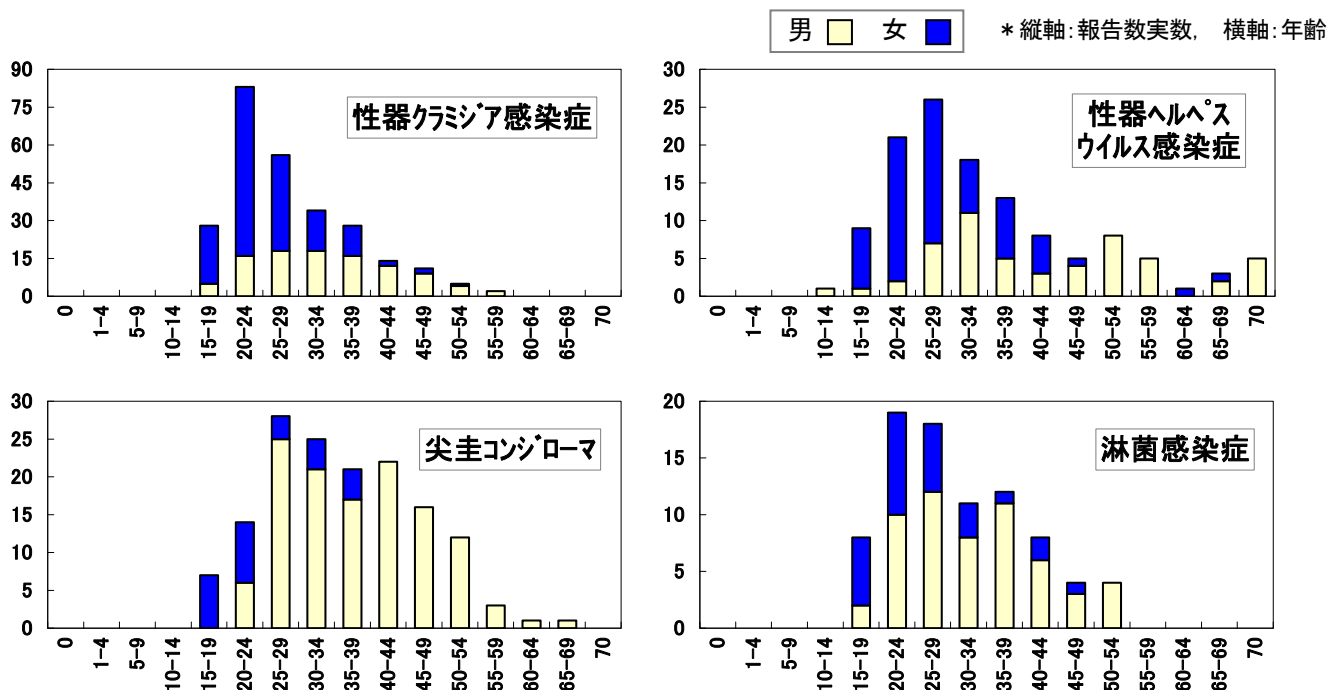
- 2008年
- △— 2009年
- ◇— 2010年
- 2011年
- ×— 2012年
- 2013年

定点当たり報告数とは？

報告数の合計を、定点としてあらかじめ指定された医療機関の数で割った「1医療機関当たりの平均報告数」のことです。

例えば インフルエンザの報告数が20件、
定点医療機関の数が5の場合
 $20 \div 5 = 4.0$
「定点当たり報告数：4.0」となります。

グラフ2 定点報告対象性感染症 年齢階級別報告数(実数) (仙台市, 2013年)



無料・匿名で
受けられます!

【エイズ&性感染症の相談・抗体検査】

検査会場	検査日	受付時間	予約	結果通知	HIV	クラミジア	梅毒	問合せ・相談
宮城県歯科医師会館 1F (青葉区国分町1-5-1)	第2・4金曜日 【夜間】	17:00~19:00	要 予約	即日	○	×	×	【予約専用】 平日13時~16時 090-4478-4641 【問合せ】 214-8029 (感染症対策課)
青葉区役所 2F	第3土曜日【休日】 ※6月, 12月を除く	13:30~15:00						
青葉区役所 2F	第1木曜日 【夜間】	17:30~19:00	予 約 不 要	1週 間 後	○	○	×	225-7211 (管理課 内線6715)
	毎週金曜日	9:00~11:00			○	×	○	
宮城野区役所 3F	第1・3木曜日	9:00~10:30			○	×	○	291-2111 (管理課 内線6717)
若林区役所 3F	第2・4水曜日	9:00~10:30			○	×	○	282-1111 (管理課 内線6715)
太白区役所 3F	第2・4火曜日	13:30~15:00			○	×	○	247-1111 (管理課 内線6717)
泉区役所 東庁舎 2F	第1・3月曜日	9:00~10:30			○	×	○	372-3111 (管理課 内線6716)

※ 祝祭日, 年末年始は実施しません。

詳しい情報はこちら ↓

「エイズの相談・抗体検査」 http://www.city.sendai.jp/kenkou/1190058_2485.html



仙台市衛生研究所
〒984-0002
仙台市若林区卸町東 2-5-10
TEL: 022-236-7722



今回の担当:
微生物課 企画調整係 菅野